

ほっとアングル Hot Angle



伊予中山ホタルまつり

6月4日、中山高校グラウンドで『伊予中山ホタルまつり』が開催されました。会場では中山町の特産品販売やステージイベント、伊予中山ホタル保存会によるホタル観賞教室などがあり、多くの人でにぎわいました。20年にわたりホタルの養殖を行っている保存会の永井志朗さんは、「みなさんに喜んでもらえるのが一番うれしい」と話し、訪れた人たちは暗闇を舞う小さな光を楽しんでいました。



ほたるの里ふたみほたる祭り



6月4日、双海町上灘の翠小学校で「翠地区ほたる保存会」が主催する『第19回ほたるの里ふたみほたる祭り』が開催されました。

祭りに先立って、まず地元翠小学校と由並小学校の児童たちによる「わんぱく相撲大会」が行われました。ちびっ子力士たちの元気な姿に、詰めかけた観衆たちから大きな声援があがっていました。

続いて、いよいよ「ほたる祭り」が開会され、地元上灘漁協女性部のアトラクションや翠小学校児童たちによるリコーダー演奏などの催しが披露されました。また、ホタルがちょうど飛び始めた夕暮れ時、実際にホタルを見ようと、観衆たちはちょうちんを手に持ち、上灘川沿いを「ちょうちん行列」。ホタルの優しい光をみんなで鑑賞しました。

高齢者教室



上灘地区公民館では、年間を通じて『高齢者教室』を開催。この第1回目となる教室が5月24日、翠小学校で開催されました。

今回は、地元の高齢者18人が、児童たちに現在ではなかなか経験できないような貴重な体験を教え、同時に子どもたちと親睦を図ろうというのが目的。高齢者たちは、1・2年生児童に対してはゲームで交流、3・4年生児童には野菜の世話とヘチマの棚づくり、5・6年生児童には田植えをそれぞれ指導しました。

5・6年生の田植えでは、子どもたちは普段、裸足で田んぼに入ることがないため、ぬるぬるとした感触に最初は戸惑っていたものの、高齢者たちの指導の良さに、苗の植え方もすぐに習得。楽しく田植えを体験しました。



なぎさ祭り

5月22日、伊予なぎさ園で『第7回なぎさ祭り』が開催されました。地域の人々との交流を深めるために行われたこのお祭りでは、利用者が作ったお菓子などを販売するバザーやフリーマーケットなどがあり、訪れた人々が買い求めていました。また、北山崎小学校の6年生が育てたもち米で餅つきが行われ、できたてのお餅が来場者にふるまわれました。



2005 伊予の里行脚

5月22日、合併を機会に広がった伊予市を自力で走ろうと、「伊予の走る会」(代表:沖幸治さん) 主催による『2005伊予の里行脚』が開催され、市内のジョギング愛好者たち約30人が参加しました。

途中からあいにくの雨に見舞われたものの、参加者たちは思い思いのペースでランニング。約45kmの道のりを全員元気に完走しました。



佐伯・徳野選手とビーチを清掃

6月3日、ビーチバレーで活躍している佐伯美香選手、徳野涼子選手が、ビーチバレーの普及とビーチのクリーンアップを目的と

と、天使幼稚園の園児たちと一緒に五色姫海浜公園内のビーチを清掃しました。

ビーチがきれいになったところで、佐伯・徳野両選手は、みんなに砂の上で運動することの楽しさを味わってもらおうと、園児たちとボールを使って遊んだり、園児のお母さんたちとビーチバレー対決を行ったりするなど、みんなで楽しいひとときを過ごしました。



伊予柔道少年錬成大会

5月29日、伊予柔道会が主催する『伊予柔道少年錬成大会』がしおさい公園体育館にて開催。今大会が20回記念大会とあって、地元

はもちろんのこと、大阪や九州方面からの参加も含め56団体、約700人の少年少女が集まりました。

錬成大会とあって、選手たちは、日ごろの練習の成果を元気に発揮することはもちろん、試合が終わると、ほかの団体の仲間たちとの交流も図られるなど、柔道を通じてたくましさの中にも優しい心身を身につけていました。